

古紙  
〔新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ〕  
集団回収

缶・びん・ペットボトル・食品トレー

イベント回収

拠点回収  
〔電池・廃食油・小型家電〕

燃やすごみ

燃やさないごみ

粗大ごみ  
家電リサイクル法対象品目

区で収集することができないものについて

事業系の資源物とごみの出し方について

品目別(五十音順)分け方早見表

各種ご相談について

墨田区のごみと3Rについて

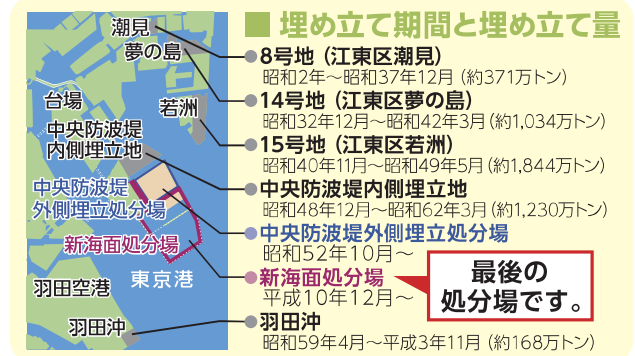
不法投棄持ち去り禁止施設のご案内

地域別収集曜日一覧  
AIサービス

# ● 墨田区のごみと3Rについて

## ごみの最後を知っていますか？

東京23区のごみは、燃やしたり、小さく砕いたりした後、東京港にある『中央防波堤外側埋立処分場』と『新海面処分場』に埋め立てられます。新海面処分場は、**東京港につくることのできる最後の処分場**です。限りある処分場を少しでも長く使うためには、今まで以上にごみを減らす必要があります。ごみを減らすために、資源物とごみを正しく分別することは、私たちの役割です。



## できることから始めよう!! 3R

皆さんは、「3R」という言葉をご存知ですか？「3R」とは、**ごみを出さないようにし、環境にやさしいまちをつくるための大切なキーワード**です。墨田区では、環境にやさしい循環型社会を目指して、「3R」の意識を持ち、実践してもらうことに力を入れています。だけど、「3Rって、なんだか難しそう…」[何をすればいいのかわからないよ!]とってしまうかもしれません。いいえ、そんなことを思う必要はありません。皆さんの身近には、3Rにつながるものがたくさんあります！それでは、「3R」の意味を知り、どんなことが「3R」につながるのかを学んでいきましょう！



### 1. Reduce (リデュース) ごみの量を減らす

一番大切なことは、ごみの量を減らすこと、つまり、**ごみを出さない**ことです。そのためには、日頃からごみを減らす・出さないような生活を心がけましょう。買い物や食事のたびに「ごみが増えちゃうかも…」と考えて行動するだけでも、少しずつごみを減らすことができます。



### 2. Reuse (リユース) 繰り返し使う

いらなくなったり壊れたりしたものを**ごみとして捨ててしまう前に**、ライフスタイルを少し見直してみましょう。ほかに何か使い道があったりしませんか？身近にそれを欲しがっている人はいませんか？日本に古くから伝わる「**もったいない**」の気持ちを大切にして、捨ててしまう前にいろいろ工夫を試みましょう。



### 3. リサイクル Recycle 資源として活かす

リデュースやリユースをしても、どうしても捨てるものは出てきてしまいます。そんな時は、正しく分別をして、ごみではなく資源として活用しましょう。「混ぜればごみ、分ければ資源」の言葉のとおり、小さなものでも正しく分別すれば資源として活用できます。また、ごみの減量だけでなく、**限りある地球の資源の節約**にもつながります。ただし、リサイクルをするには、工場の運転などでエネルギーや費用がたくさんかかってしまいます。「**リサイクルは最後の手段**」として覚えておきましょう。

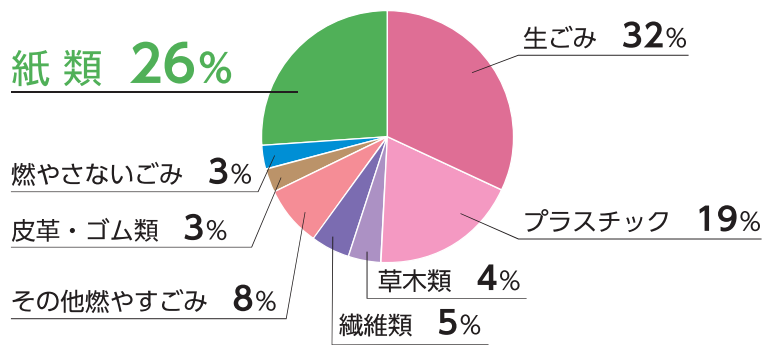
再生品にはこんなマークがついています！



## 紙のリサイクル

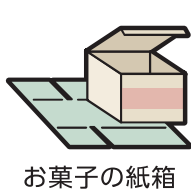


墨田区内の家庭から出る「燃やすごみ」のうち、全体の約4分の1を『紙類』が占めています。1人ひとりが「3R」を実践し、大きな割合を占めている『紙類』を減らして、ごみの減量にぜひ、ご協力ください。



令和元年度「燃やすごみ」組成調査結果(重量比)

### こんな紙もリサイクルできる！



これらの紙もリサイクルすることができるので、ごみで捨てずに**資源物**として出してください!!

### 小さな紙片どうやって出せば良いの？

小さな紙片(折り紙や紙ひもなど)は紙袋に入れてから、雑誌などと一緒にひもで縛って出してください。その際、風で飛ばないように注意して出してください。一つ一つの量は少なくても、たくさん集まると大きな減量効果を生み出します。



細かい紙でも、  
リサイクル  
できるんだね♪





# 身近にできる生ごみ減量

墨田区内で出る燃やすごみのうち、およそ3分の1は**生ごみ**で占められています。この生ごみは、多くが**食べ残し**や**調理くず**、**手付かずの食材**です。これらを減らすことは、燃やすごみの大部分を減らすことになり、埋立処分場の延命やごみ処理費用の削減につながります。また、清掃工場の焼却効率が上がることで、二酸化炭素の発生量が減り、地球温暖化の抑制も期待できます。ここでは、**身近にできる生ごみの減量方法**をご紹介します。普段なにげなく捨てている生ごみも、いろいろな方法で減量することができますよ！

## 1. 生ごみになるものを減らす

まずは基本的なことですが、生ごみになるものや、生ごみになりそうなものを**減らす**ことから始めましょう。

### たとえば...

#### ▶ 買いすぎない

家にある食材をきちんと把握し、何が必要なかを考えてから買い物をしましょう。

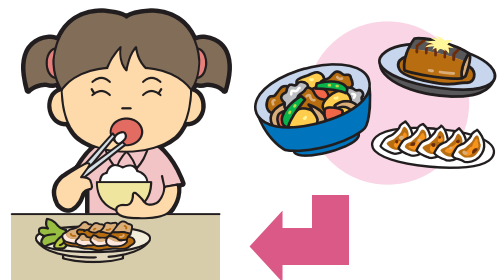
また、安いからといって、必要以上に買いすぎないようにしましょう。



#### ▶ 作りすぎない

残り物が出ないように、食べられる分だけを作りましょう。

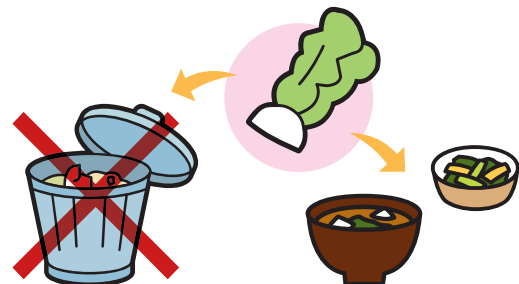
食べられる分だけ作れば、食材も無駄になりません。



#### ▶ 調理くずを減らす

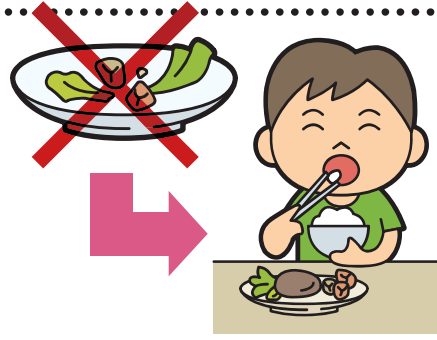
野菜の皮や肉の脂などを取るときに、食べられる部分まで取ってしまわないようにしましょう。

また、取った部分をほかの料理として活かすこともできます。



## ▶ 食べ残さない

せっかくおいしく作ったのに、残して捨ててしまふなんてもったいないですね。  
食べ物を大切にして、残さず食べましょう。



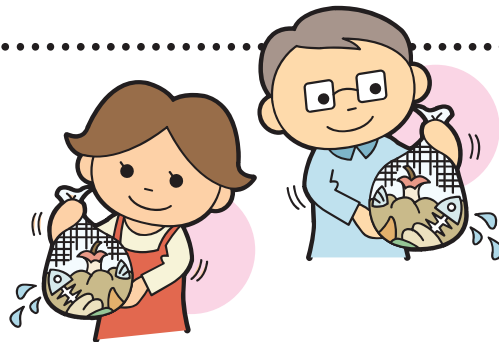
## 2. しっかり水切りをする

生ごみは、およそ**80%が水分**と言われています。そのため、しっかり水切りをすれば生ごみを減量することができます。例えば、1世帯で**一日大さじ3杯分（45cc）の水切り**ができれば、墨田区で**年間約2,500トン（25mプール約5個分）**のごみを減量できます。  
また、水切りをすることで、生ごみのいやな臭いの発生も抑えることができます。

### たとえば…

#### ▶ ぎゅ〜っと水切り

三角コーナーや排水口のごみ受けに溜まった生ごみを、空きびんなどでぎゅ〜っと押し水をしぼりましょう。  
これだけでもかなり生ごみを減量できます。



#### ▶ ぬらさないようにする

水気の少ない野菜の皮などは、流しに落とすままにせず、新聞紙等で作ったくず箱に入れてぬらさないようにしましょう。  
このまま乾燥させれば、ごみはさらに軽くなります。

